神 学 部 規 程

(趣旨)

第1条 この規程は東京基督教大学学則第1条第2項の規定に基づき、東京基督教大学神学部（以下「本学部」という。）における教育研究上の目的、その他必要な事項について定める。

(教育研究上の目的)

第2条 本学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、以下の通りとする。

本学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

(学部の構成、専攻)

第3条 本学部に、学則第4条に定める神学・国際教養学科を設置する。

- 2 神学・国際教養学科の教育研究上の目的は、本学部の教育研究上の目的と共通とする。
- 3 神学・国際教養学科に、履修モデルとして、以下の専攻を設置する。学修の手引き等に示した専攻別指定科目一覧表に定める科目を修得した者には、学長は当該専攻の修了を認定する。

- (1) 教会教職専攻
- (2) グローバル・スタディーズ専攻
- (3) ユース・スタディーズ専攻
- (4) キリスト教福祉専攻
- (5) 神学教養専攻

- 4 前項に定める各専攻の教育目標は、以下の通りとする。

- (1) 教会教職専攻

教会教職者（牧師、宣教師、伝道師など）への召しに応え、福音主義に立脚した神学諸分野（聖書・組織・歴史・実践）を有機的に統合した学びに取り組む。個々の賜物と召しを重んじ、各教会・教団教派の特徴を尊びつつ、包括的福音の担い手を自覚する教会教職者の養成を目指す。

- (2) グローバル・スタディーズ専攻

世界の痛みのあるところに神の愛と平和をもたらすために、異文化の人々と協働することのできる実践的な力をもった人を育成する。国内外の社会問題について多様な視点から分析し、創造的に発想しながら問題解決に向けて自ら行動できる力を養う。

- (3) ユース・スタディーズ専攻

ユース（思春期の若者）の文化、および心理的・社会的発達のプロセスや課題を理解し、彼らの全人的な成長を促し支えるリーダーシップを養うことを目指す。また、聖書の言葉をユースの実践的問題解決につなげるために神学する力を養う。

(4) キリスト教福祉専攻

基礎的な聖書・神学の理解を土台に、キリスト教福祉の考え方と実践力を養う。特定の領域に縛られず、人々と共に生きる福祉や教会と福祉のあり方等のテーマを、介護・ソーシャルワーク双方から広く学び、将来のクリスチャン福祉ワーカーとしての働きに資するスピリット・知識と技術を培う。

(5) 神学教養専攻

すべてのキリスト者が神に召された献身者であると考え、それぞれのキリストにある天職を求め、それに応えていくことを目指す。あらゆる事柄についてキリスト教独自の視点で考え、日常生活の全領域において、聖書の言葉に根ざした思想をもって行動する力を養う。

5 1・2年次教育の教育目標は、以下の通りとする。

キリスト教リベラルアーツ教育に基づく幅広い教養を身につけ、理論と実践を統合し、共同体での学び合いを通じて、霊性、知性、品性、社会性を育てる。また、基礎的学びを発展させつつ、キャリア形成を意識しながら専攻を選択する。

6 学則第24条の4に定める制度は、認証制度及び副専攻と称し、詳細は認証制度・副専攻実施規程において定める。

(アドミッションポリシー)

第4条 本学部は、学則第10条第2項に基づき、入学者受入方針（アドミッションポリシー）を以下の通り定める。

全学部共通

東京基督教大学は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。

本学の教養教育、寮教育やチャペル礼拝を通じたキリスト教人格教育、各専攻による専門教育により、福音的な聖書理解と幅広い神学知識、人と社会に仕える姿勢と教養、神と教会に仕える情熱と知見、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

本学の入学者に求める条件、資質は以下のとおりです。

1. 既に洗礼を受けたか、幼児洗礼の場合は信仰告白をしていること。
2. キリストへの献身¹を表明し、将来教会と社会に仕えることを志していること。
3. 本学の建学の精神と信仰基準に同意すること。
4. 聖書の基礎知識を有し、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力があること。
5. 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれること。

本学の入学者選抜においては、聖書の基礎知識、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力、自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションをとれる力があるかどうかを審査します。なお、入学者選抜における評価方法及び評価比重については、別途学生募集要項に定めます。

注1 本学が考える「献身」とは、牧師や宣教師のみならず、広くこの世界でキリストに仕える者としての献身を意味します。

(カリキュラムポリシー)

第5条 本学部は、学則第23条第4項に基づき、教育課程編成・実施の方針（カリキュ

ラムポリシー)を以下の通り定める。

本学部では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「ディプロマポリシー」を達成し、福音的な聖書理解と幅広い神学的知識、さらには情熱を持って神と人に仕えるための実践力を身につけたクリスチャンを育成することを目指して、「TCUコア科目」、「キリスト教リベラルアーツ科目」、「言語科目」、「専門科目」、「統合科目」の科目群により教育課程を体系的に編成します。

また、学生が自らの興味や将来の目標に沿った学びを進めることができるように、幅広い神学科目の中から、より明確な将来像と結びついた複数の専攻（履修モデル）と副専攻を提供します。提供される専攻は以下のとおりです。

教会教職専攻

グローバル・スタディーズ専攻

ユース・スタディーズ専攻

キリスト教福祉専攻

神学教養専攻

以上のようなカリキュラムの構造を体系的に理解できるように教育課程表を提供し、さらに各科目、科目群で修得することが求められるディプロマポリシーを明示したカリキュラムマップを提供します。また、科目コードを用いることで科目の区分（科目群）と履修目安年次を明示します。

「教育内容」、「学修方法」、「評価」について以下のように定めます。

[1]教育内容

- a. クリスチャンとして広く社会で活躍する人を育成するため、日本語と英語の両方で学ぶことのできるカリキュラムを提供します。
- b. 新生には、神学を概観できる科目に加え、大学という学習共同体の一体感や、キリスト教世界観を形成するために必要な実践的な学びの機会としてTCUコア科目を提供します。TCUコア科目の一つである「クリスチャンライフ・フォーメーション」では、社会と教会に仕える実践力や協働力を身につけたクリスチャンを育成するため、チャペル礼拝出席及び地域教会での礼拝出席を必修とし、さらに寮教育の機会を提供します。
- c. 人間と社会を理解するために必要なキリスト教リベラルアーツ科目として人文学、社会科学、Great Books、教会音楽の科目を提供します。
- d. 初年次の学生には、大学における学びに備えるための基礎的な学力の充実を主眼とする初年次教育科目を提供します。
- e. 言語科目では、日本語トラックの学生は英語を中心に、英語トラックの学生は日本語を中心に学びます。またグローバルな視点を養う諸言語を提供します。
- f. 神学の知識とその応用力を身につけるため、聖書学、組織神学・歴史神学、実践神学の科目、さらに聖書学を専門的に学ぶための言語科目として聖書原語科目を提供します。
- g. 異文化と他者への理解をもって神と人に仕える実践力を身につけたクリスチャンを育成するため、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉等の専門科目を提供します。

- h. 3、4年生を対象に学びの実践と統合を目的とした演習（ゼミ）、実習（インターンシップ）、卒業研究等の統合科目を提供します。これらの統合科目を通してキャリア形成を行い、より明確な将来像と結びついた具体的な進路選択を促します。

[2]学修方法

- a. 学生と教員の距離を縮め、より能動的な学修参加を促すため、少人数クラスの編成を基本とします。
- b. 学生の能動的な学修参加と、他者との協働を促すため、授業の中で小グループ・ディスカッションや学生発表等のアクティブラーニングの諸方法を用いた学修の機会を提供します。
- c. すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- d. 授業内容の改善に活かすために、学生による授業評価を実施します。

[3]評価

- a. シラバスに記載された到達目標に従って各科目の成績評価を行います。
- b. 卒業判定につながる学修成果の評価には、通常の科目成績評価に加え、DPルーブリックに基づく学生の自己評価、教員との面談を含む他者評価、外部評価が総合的に用いられます。

（ディプロマポリシー）

第6条 本学部は、学則第30条第4項に基づき、卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマポリシー）を以下の通り定める。

本学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。

以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。

1. プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。
2. 東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。
3. 修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。
4. クリスマンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。
5. 神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている

第7条 （削除）

第8条 （削除）

（改廃）

第9条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

附則 [2020年（令和2年）3月2日制定]

- 1 この規程は、2021年（令和3年）4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行の日に、「学部規則」は廃止する。
- 3 2021年4月1日に学生募集を停止する神学部神学科及び国際キリスト教福祉学科の教

育研究上の目的その他は、なお従前の例による。

4 以下の各号に定める学科等に所属する学生に関する事項については、それぞれ以下に掲げる専攻会議等が審議する。

(1) 神学科（専攻等に所属しない者）…1・2年次教育担当者会議

(2) 神学科教会教職専攻…教会教職専攻会議

(3) 神学科神学専攻…神学教養専攻会議

(4) 神学科アジア神学コース…神学教養専攻会議

(5) 神学科シニアコース…神学教養専攻会議

(6) 国際キリスト教福祉学科国際キリスト教学専攻…グローバル・スタディーズ専攻会議

(7) 国際キリスト教福祉学科キリスト教福祉学専攻…キリスト教福祉専攻会議

附則 [2025年（令和7年）3月4日改正]

1 この規程は、2025年（令和7年）4月1日から施行する。